

枚方市京阪沿線（枚方市駅以南）まちづくり構想（案）
に対する市民からの意見の概要と枚方市の考え方

平成20年（2008年）3月

枚 方 市

1. 意見募集の目的

現在、枚方市では、まちの分断要素となっている京阪本線について、大阪府、寝屋川市、京阪電気鉄道株式会社とともに、連続立体交差事業の具体化に向けて取り組んでいます。

香里園駅～枚方市駅では、開かずの踏切が多く、交通渋滞や踏切事故発生の懸念など日常生活において多くの課題を有しています。

そのため、この沿線地域の居住者を対象に実施した「光善寺駅・枚方公園駅周辺のまちづくりに関する住民アンケート調査^{注1)}」や、沿線のコミュニティ協議会の協力を得て設置した「京阪沿線まちづくり懇談会^{注2)}」の意見の結果などを踏まえ、「枚方市京阪沿線（枚方市駅以南）まちづくり構想（案）」をまとめました。

この構想（案）について、広く市民の皆様の意見をお聞きし、まちづくり構想に反映していくためにインターネットアンケートによる意見募集を行いました。

また、インターネットアンケートと併せて、まちづくり推進課、都市計画課、各支所、さだ生涯学習市民センター、枚方公園青少年センターに、意見記入用紙と意見回収箱を設置して、意見募集を実施しました。

注1)：光善寺駅・枚方公園駅周辺のまちづくりに関する住民アンケート調査

- ・ 調査目的
京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業調査の実施にあたり、市民の感じていることについてアンケートを行い、沿線におけるまちづくりの方向性を検討する。
- ・ 調査方法
郵送配布、郵送回収
- ・ 調査期間
平成 18 年 1 月 23 日～平成 18 年 2 月 6 日
- ・ 調査対象者
京阪本線沿線（枚方市駅～香里園駅）の市内在住の 15 歳以上の市民を対象に、1500 人を無作為抽出
- ・ 回収数
総回収数 766 通（回収率：51.1%）

注2)：京阪沿線まちづくり懇談会

- ・ 懇談会目的
枚方公園駅から香里園駅間における京阪本線連続立体交差化に伴い、沿線の校区コミュニティ協議会と枚方市が、当該地域における安全で住みやすく魅力的なまちづくりについて、意見交換及び研究等を行う。
- ・ 構成組織
京阪本線沿線の校区コミュニティ協議会の代表者（6 校区・20 名）、枚方市
- ・ 懇談会の検討経過
第 1 回懇談会(平成 19 年 10 月 3 日) 京阪沿線のまちづくりの課題の検討
第 2 回懇談会(平成 19 年 11 月 7 日) まちづくりの課題の確認とまちづくりの方針の検討
第 3 回懇談会(平成 19 年 12 月 6 日) まちづくりの方針の確認とコンセプト等の検討

2. 実施要領

- 名称
「枚方市京阪沿線（枚方市駅以南）まちづくり構想(案)」アンケート
- 意見提出方法
 - 1) 枚方市ホームページによるインターネットアンケート
 - 2) 郵送による方法……まちづくり推進課宛に送付
 - 3) 意見回収箱による方法……まちづくり推進課、都市計画課、北部支所、津田支所、香里ヶ丘支所、さだ生涯学習市民センター、枚方公園青少年センターにおいて、意見回収箱を設置
- 実施期間
平成 20 年 2 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日（29 日間）
- 意見募集対象者
枚方市に在住・在職・在学の方
- 広報
広報ひらかた 2 月号、枚方市ホームページに掲載

3. 集計結果

- 意見提出者数
13 人（うち、枚方市内在住者 12 人、枚方市外在住者 1 人）
- 提出意見数
13 件（うち、インターネットアンケート 5 件、郵送 2 件、意見回収箱 6 件）
- 意見の整理方法
市民からの 13 件の意見を、その内容により項目（全般、立体交差方式、光善寺駅付近、枚方公園駅付近、高架下利用、道路、今後の取り組み）に分類し、23 件の意見として整理。

4. 市民からの意見の概要と枚方市の考え方

項目	市民からの意見の概要	枚方市の考え方
全般	構想案に賛成です。	<p>枚方市駅から寝屋川市駅までの高架化されていない区間のうち枚方市域では15箇所の踏切があり、その全てがいわゆる開かずの踏切（ピーク時1時間あたりの遮断時間が40分以上の踏切）となっています。そのため、交通渋滞や踏切事故発生の懸念など日常生活において多くの課題があります。</p> <p>これらの問題を解消するために、現在、大阪府を事業主体として、寝屋川市、京阪電気鉄道株式会社とともに、連続立体交差事業の調査・検討を進めており、できるだけ早く事業に着手していきたいと考えています。</p>
	早急に高架にしてほしい。	
	高架化については、大いに賛成。	
	鉄道踏切が除却されるので、早く高架にしてほしい。	
	枚方公園駅付近の踏切は、車や人がごった返して危ないように感じます。	
	京阪光善寺駅利用の地域住民として、枚方市～寝屋川市間の高架運転の早期実現を心待ちにしています。	
	香里園駅、光善寺駅横の踏切を、車で横断することは“命懸け”。遠回りして横断を避ける人も多い。	
立体交差方式	<p>立体交差化の手法については、</p> <p>①将来京阪電車の淀屋橋⇄高槻方面への延線化</p> <p>②現在の狭いアクセス道路しかない香里園駅の商業機能を高める</p> <p>③安全な歩行者用側道スペースの確保を考えた場合高架化よりも地下化が望ましいと考えます。</p>	<p>地下方式による立体交差を行った場合、枚方市駅及び寝屋川市駅の高架部分より地下に向けて、一定の緩勾配でのすり付けが必要となるため、その区間では人や車両が自由に鉄道を横断できないことになり、地域分断が解消できません。</p> <p>また、高架方式に比べて地下方式は、一般的に事業費が1.5倍程度大きくなります。</p> <p>これらのことを踏まえ、立体交差方式については、現在、大阪府を事業主体として、寝屋川市、京阪電気鉄道株式会社とともに、調査・検討を進めています。</p>
	<p>「鉄道地下化」案の検討もいただきたい。</p> <p>〈地下化の利点〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域分断の解消。街作りしやすい。 2. 鉄道敷、跡地の有効活用。 3. 鉄道の急カーブの解消。傾きの解消 4. 1号線との高交差の解消 5. 用地費用の大幅節減 6. 用地に費やす年月の短縮（全体工期の大幅短縮） 7. トンネル化工法の実績も豊富。（京都線地下化、淀屋橋西伸地下化） 	
	<p>地下鉄道にして、敷地は横長大店舗。公園他場所があれば如何様にでも、街作り可能。</p>	

項目	市民からの意見の概要	枚方市の考え方
光善寺駅 付近	<p>駅舎が曲線区間にある光善寺駅は、電車とホームの間が広く開いており、小さい子供が電車に乗り降りする際、非常に危険です。</p> <p>駅舎を香里園寄りの直線部分、できれば広い道路である中振交野線との交差点近くまで移動させ、ロータリーを完備した利用しやすい駅に整備していただくことを希望します。</p>	<p>光善寺駅については、できるだけ現状の商業施設などに配慮しながら直線部に駅舎を移動することで、誰もが便利で安心して利用できる駅としていくよう検討していきます。</p> <p>また、光善寺駅周辺の交通結節機能を充実していくよう駅前広場の整備などの検討をしていきます。</p>
枚方公園 駅付近	<p>枚方公園などは新しい物件も増え、人の出入りが激しくなってきたと感じます。しかし、駅前には買い物できる場所もすくなくもったいないような気がします。</p> <p>枚方市駅や寝屋川市駅のように3階建てのようにして、買い物できるところや車や人もそのまま通過できるような構造にしていただけるとありがたいと思います。せっかくひらかたパークなどもあり人の出入りがあるのにもったいないと思います。</p> <p>枚方公園駅西側にバスターミナルを作ってほしい。</p> <p>枚方公園駅舎は、京阪が進めようとしている枚方パークの商業施設化を明確にしてすすめるべき。</p>	<p>枚方公園駅周辺については、東西駅前広場の一体的利用により、人が集える空間を創出していくほか、淀川河川公園、歴史街道、ひらかたパークなどの地域の観光資源ネットワークを強化し、駅前商店街を活性化するなど、魅力的でにぎわいのあるまちづくりに繋げるよう検討していきます。</p>
高架下 利用	<p>工事は予算等で大変だと思いますが、その実現と相対関係にある高架下の空地をどのように有効活用されるが今後の課題です。</p> <p>(その課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歩道の無いところ狭いところは、高架下を利用し歩道としての安全利便性を図る。 2. 駐車場の必要な地点は、その場所を駐車場として生かすこと。 3. 高架下の空地に店舗等も設置し、地域の発展利便性に供する。 	<p>立体交差方式については、現在、大阪府を事業主体として、寝屋川市、京阪電気鉄道株式会社とともに、調査・検討を進めています。</p> <p>鉄道を高架化する場合は、高架下空間の利用方法として、商業施設や公共施設、また、より便利な駐車場・駐輪場を整備するなど、有効活用できるよう検討していきます。</p>

項目	市民からの意見の概要	枚方市の考え方
道路	<p>歩道の安全確保。狭いとベビーカーなど押して歩きにくい。(人や中には自転車などの対向にキケン)</p>	<p>安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるため、鉄道の立体交差化とあわせて適切な道路ネットワークを形成するとともに、歩道設置など安全な歩行者空間を確保するよう検討していきます。</p>
	<p>いつも香里園駅周辺の踏み切りを使用していますが、踏み切りを渡ろうとする車が府道八尾枚方線に並び、歩行者や自転車がその間をすり抜けて行く形になっていてとても危険です。事故が起こらないのが不思議だと思えます。</p> <p>ぜひ線路を高架にしてほしいです、また、府道八尾枚方線に歩道がないので、ぜひ歩道をつけてください。</p>	
	<p>府道八尾枚方線に歩道がないので、ぜひ歩道をつけてください。</p>	
	<p>府道八尾枚方線は狭いわりに交通量が多いので、普段から非常に危険を感じています。</p>	
	<p>中振交野線が整備されれば、香里園駅を起点とした巡回バス路線も運行可能になると思うので、公共交通機関の利用率も高まり、環境面でも良いのではないのでしょうか。</p>	
<p>高架化を早急に行い、側道等の交通信号体系を整備すべき。</p> <p>特に、交通安全を確保できるようにお願いします。</p>	<p>鉄道の立体交差化に併せて整備する側道や府道八尾枚方線において、安全な歩行者空間を確保していくとともに、必要に応じて交差点の信号処理を行うなど、安全な交通環境の確保について検討していきます。</p>	

項目	市民からの意見の概要	枚方市の考え方
今後の 取り組み	<p>官民相互で納得のいく施策をオープンに検討する。</p> <p>例えば高架化事業はインフラ整備であり公共性が高いが、企業（この場合は京阪電鉄）側も市としても実施により享受できる「利益」と「不利益（補助などによる財務上のリスク）」が明確になることと、市民にとっての「利益」と「不利益（騒音リスク）」をオープンにしながら検討を進めてほしい。</p>	<p>まちづくり構想(案)の作成にあたっては、アンケート調査、京阪沿線まちづくり懇談会の意見を踏まえ、とりまとめました。</p> <p>今回、この構想(案)に対しインターネットアンケート等により、広く市民の皆さんの意見をお聞きして、まちづくり構想を策定いたしました。</p> <p>今後、この構想の具体化にあたっては、さらに沿線住民の方々を始め市民の方々の意見を聞きながら、検討を進めていきたいと考えています。</p>
	<p>中長期的視点を市民にも持たせ、検討に市民の積極的な参加を促す。</p> <p>半強制的にでも検討に市民を参加させ、まちづくりに当事者意識をもてるようにしなければ成功しない。近々の課題解消だけではなく、中長期でのビジョンを明示し、検討することが肝要。</p>	